

工芸から古美術、現代アートまで、日本の美意識を手に入れるアートフェア「artKYOTO 2024」 出展者が決定！7月22日(月)より前売チケット販売開始！

artKYOTO 2024 実行委員会は、令和6年10月31日(木)・11月2日(土)・11月3日(日)に、国の名勝に指定されている渉成園にてアートフェア「artKYOTO 2024」を開催します。

この度、工芸・古美術・近代美術・現代アートを取り扱う16軒のギャラリー・美術商の出展が決定しました。風光明媚な景観の中で日本に脈々と受け継がれる美を感じながら、作品の鑑賞と購入をお楽しみください。



【artKYOTO 2024 の出展者について】

「artKYOTO 2024」では、渉成園に点在する建物を巡りながら、ギャラリー・美術商による展示と作品購入を通して、日本の美意識を手に入れる貴重な体験をお楽しみいただけます。近代陶藝の巨匠たちの逸品や、現代に生きる工芸作家を扱う「しぶや黒田陶苑（東京）」をはじめ、表現の渴望・情熱を直接的に伝える、近現代の国内外作家の作品を紹介する「メグミオギタギャラリー（東京）」、ギャラリストと同世代である20～30代の作家を独自の目線でセレクトする「Ritsuki Fujisaki Gallery（東京）」などが出展します。また、2019年以降の出展となる「古美術 柳（京都）」、「KANEGAE<KOGEI Next>（京都）」、「ギャラリー 志（芦屋）」が、滴翠軒の景観を生かし、空間を区切らずに展開するブースも必見です。

<出展者一覧>※7月22日時点

Artglorieux GALLERY OF TOKYO（東京）／Ritsuki Fujisaki Gallery（東京）／
hatonomori art（東京）／ギャラリー広田美術（東京）／KANEGAE<KOGEI Next>（京都）／
GALLERY KOGURE（東京、金沢、京都）／メグミオギタギャラリー（東京）／
RED AND BLUE GALLERY（東京）／SH GALLERY（東京、ソウル）／しぶや黒田陶苑（東京）／
ギャラリー 志（芦屋）／瀧屋美術（鎌倉）／TAV GALLERY（東京）／Wa. gallery（大阪）／
古美術 柳（京都）／ZEAL HOUSE（東京、鎌倉）

【前売チケットの販売について】

前売チケットはオンラインで販売を開始します。

発売日：令和6年7月22日（月）午前10時～

チケット料金：前売2,000円／当日2,500円（税込み）

※別途、渉成園への入園には庭園維持寄付金（大人700円／中学生・高校生300円／小学生以下無料）が必要。

販売サイト：<https://ak-2024-ticket.square.site/>

※全ての前売券が「日時指定券」となっております。販売規定枚数に達している場合は、当日券の販売は行いません。

※小学生以下は大人1人につき2人まで「artKYOTO 2024」への入場無料。

※小学生以下のみの「artKYOTO 2024」への御入場はできません。

※ハンドキャリーなど大きな手荷物の会場への持ち込みはできません。

【開催概要】

名称：artKYOTO 2024

日程：令和6年10月31日（木）午前10時～午後4時

11月2日（土）午前10時～午後4時

11月3日（日）午前10時～午後3時

※10月30日（水）は、プレス・関係者向けの特別内覧会

※11月1日（金）は休業

会場：渉成園（〒600-8190 京都府京都市下京区下珠数屋町通間之町東入東玉水町）

主催：artKYOTO 2024 実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

実行委員会：ユニバーサルアドネットワーク株式会社、一般社団法人アート東京、京都市

後援：内閣府、外務省、経済産業省、観光庁、京都府、京都商工会議所 ほか

WEB：<https://artkyoto.jp/>

※artKYOTO 2024は「令和6年度日本博2.0事業(委託型)」です。



©Expo 2025

（参考）渉成園について



閨風亭外観

国の名勝に指定されている渉成園は、大小二つの池と諸建築で構成される東本願寺の飛地境内地の庭園。1641（寛永18）年に三代将軍・徳川家光から当地（約1万坪）が寄進され、石川丈山の趣向を入れた作庭がなされました。京都駅から徒歩10分という立地にありながら、庭園には四季折々の花が咲きほこり、変化に富んだ景観は「十三景」と称されています。